

(JPOPM38) [カテゴリー:Info]

オンラインにおける一次コンセンサス形成について

2020年6月24日

JPOPF運営チーム

中川あきら

- JPOPF は、インターネットの番号資源に関わる意思決定の場である。
- Covid-19 により JPOPM のオンライン開催を強いられている。当面続く可能性がある。
- オンラインにおいても Policy Development Process (以下、PDP) に則り、正しく意思決定をする必要がある。

- ご相談 (2点)
- ディスカッション

- PDP によると、ポリシー提案に対する一次コンセンサスを得る場である JPOPM は「オンサイトでのみ」で開催可能となっている。
- PDP を改訂するためには JPOPM をオンサイトで開催する必要があるが、オンサイト開催の目途が立っていない。
- 現PDPにおいては、本年11月頃予定の次回 JPOPM39 において提案が出た場合に、1次コンセンサスを得ることができない。

- 次回の JPOPM39 において、JPOPF運営チームが PDP 改訂の提案を出すが、
 - 1) この手続きをオンラインにおける JPOPM で進めたい。
 - 2) 改訂版PDP の実装は JPOPM39以降になる。改訂版PDP の適用時期を JPOPM39 開催時に遡求したものとしたい。
- ※ 上記2点が合意された場合、PDP 改訂までに新規提案が出た場合、暫定運用として、遡求改訂を前提としてオンラインにおける JPOPM で一次コンセンサスの手続きを進めます。

- 次回 JPOPM39 までの期間中に JPOPF運営チームにおいて、オンラインにおける一次コンセンサスの形成方法について検討を行います。本検討への参加を希望する方は、ご一報ください。
- 連絡先
 - JPOPM運営チームのメンバーに直接連絡
 - メール：contact at jpopf dot net

第1部 QA

- ご相談 (2点)
- ディスカッション

	運営面	ツール面
オンライン のメリット	・ 出席者は、移動時間の確保が不要 ・ 遠方の方々が、出張をせずに出席可能 ・ 一つの組織から複数人の参加がしやすくなる	
課題	・ 参加者の一意性を担保すること - 1人の出席者が複数の所属・氏名、偽名等で出席し、何度も同じ意見を言ったり多数の票を入れる可能性がある。 ・ 組織票・嵩増しを抑止すること - 現地開催と比べて、組織票を入れやすい。 ・ 双方向コミュニケーションを維持すること - オンラインにおいては、出席者の挙動や相槌等が伝わりにくく、片方向コミュニケーションになりやすい。	・ 出席者の一意性の担保手段の確保 ・ 組織票の対応手段確保 ・ 発言方法 - 発言の際、チャットで「意見があります」と主張した上で司会からの発言許可を得た上で、ミュート解除・発言という運用で良いか。 ・ 多数決の手段

本日の終了時にアンケートをご案内します。

今後の JPOPM オンライン開催に関して、
ご意見をいただけますか。

JPOPF-ST